

11/28(土)

平成27年度 医学会を開催



座長 野元副院長



今村理事長



岸川副院長



熊谷副院長



理事長より表彰

サンメッセ鳥栖にて毎年恒例の如水会医学会が行われました。地域に貢献する如水会を目指して、「如水会を受診・利用した人々が、心からここに来て良かったと喜んでいただける医療・介護サービスの提供」を実現できるように、平成27年1月から「良い病院・組織にする取り組み」を実践してきました。そして、『如水会のこれから…未来をみつめて』というテーマを掲げ、今村理事長をはじめ大勢の如水会職員が参加し、各部署で実践してきたその経過と結果を発表しました。最後に理事長より表彰があり、リハビリテーション室の取り組みが1位の総評を頂きました。

特別講演では、外科部長の岸川医師による肝移植について、整形外科の熊谷医師による骨粗鬆症の治療について貴重なお話を聞くことが出来ました。肝移植については、当院でもいつか実現可能かということで、看護師からも質問が挙がっていました。骨粗鬆症については高齢の方、特に閉経後の女性になりやすく、骨折のリスクも高まるそうです。中でも、骨折の既往がある人の多くは骨粗鬆症の治療が必要だと言われていました。当院では骨密度測定検査が出来ますので、興味のある方はお気軽にご相談下さい。

編集後記

昨年は、皆さま大変お世話になりました。

今年の健康教室は、病院を出て屋外での開催を考えております。まだ企画の段階ですが、今までとは違った講演を行ってみたいと思います。また、広報誌もより見やすく、当院の情報を発信してまいります。

それでは、今年一年もどうぞよろしくお願い致します。

編集者：馬場 英功



医療法人社団 如水会
今村病院



Tel. 0942-82-5550 Fax. 0942-85-2190
〒841-0061 佐賀県鳥栖市轟木町1523-6

<http://www.josuikai.or.jp/>



如水

Josui

Vol.21
2016年
春号



私たちはサガン鳥栖を応援します
今村病院は、サッカーJリーグ1部で戦う「サガン鳥栖」のサポーターです。



目次	
新年のごあいさつ	1
新入職医師の紹介	
「ダニ舌下免疫療法」を始めました	2
特集/ 感染性胃腸炎にご注意!	3-4
部署紹介/HCU	5
イベント紹介	6
平成27年度 医学会を開催	7

医療法人社団 如水会
今村病院



<http://www.josuikai.or.jp/>
Email info@josuikai.or.jp

新年のごあいさつ



医療法人社団 如水会 今村病院
理事長 今村 一郎

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

旧年中はひとかたならぬお世話になり、誠にありがとうございました。皆さまのお陰をもちまして、無事に新春を迎えることができました。

また、平成26年8月より新しい外来棟での診療をスタートさせましたが、昨年也大過なく日々の診療を行うことができました。これもひとえに皆さまのご支援の賜物であると心より御礼申し上げます。

今年も職員一同、より一層地域医療に貢献出来ます様、努力いたしたいと存じます。今後とも倍旧のお引き立てをお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



医療法人社団 如水会 今村病院
副理事長 山下 明子

新年あけましておめでとうございます。

新しい外来棟が完成してはや1年半が過ぎようとしています。外見だけでなく、今村病院は診療の体制や内容が大きく変化しました。医療スタッフが増え、救急車の受け入れ台数が増え、多くの手術を行い、HCU(高度治療室)では重症の患者さまに集中治療を提供できるようになり、これも当院を利用して頂く皆さまや、地域の方々に支えられているからに他なりません。今後もさらに質の高い医療を皆さまに提供できるよう、理事長の指揮のもと職員全体で取り組んでまいります。

今年もよろしくお祈り申し上げます。



医療法人社団 如水会 今村病院
総院長 小林 尚志

明けましておめでとうございます。本年も皆さまにとりまして、平穏で幸せな1年となりますよう、心より祈念しております。

今年の努力目標は、「鳥栖・三養基地区の2次救急医療病院として全力を尽くすこと」、を掲げて職員一同奮励努力してまいりました。昨年1年間で救急隊からの搬入件数は1500台を超えました。とりわけ夜間、日曜祭日の診療体制の確立にも注力をいたしてまいりました。しかし、まだまだ地域の皆さまの負託に十分にお応えすることができず努力不足を痛感しております。

今年こそは、皆さまのお声にしっかりと耳を傾け、改善に改善を重ねて、満足していただける病院へと職員一同懸命に頑張る所存でございます。

本年も何卒よろしくご指導ご鞭撻を賜りますように重ねてお願い申し上げます。

新入職員ご挨拶



健康管理センター医師
みぞて よしこ
溝手 淑子

2015年10月1日より今村病院に勤務することになりました溝手淑子です。

今村病院では主に2014年8月に移転したばかりの健康管理センターと毎週月曜日午前中の内視鏡検査を担当しています。

健康管理センターでは現在最新システムを導入中であり、少しでも早く結果を出せ正確なデータを提示できるセンターを目指し構築中です。

まだまだ中途の段階であり課題が多く残されています。

今後、質の高い健康診断と最新の予防医学を提供するために職員の方々と共に一丸となって地域の皆さまに貢献していきたいと思っております。

アレルギー性鼻炎の免疫療法
新たな治療としての
ダニアレルゲン舌下免疫療法のご紹介

当院耳鼻咽喉科ではアレルギー性鼻炎の治療として、スギ花粉・ダニアレルゲン双方の免疫療法が可能です。

舌下免疫療法は、所定の講習を受講し許可を得た医師と指定された医療機関でしか受ける事ができません。治療に興味がある方は是非耳鼻咽喉科までご相談下さい。



2014年11月よりスギ花粉症における舌下免疫療法が可能となり、当院でも多くの患者さまがスギ花粉症に対する舌下免疫療法を受けています。

2015年末には、新たにダニアレルゲン(ダニ抗原)に対する舌下免疫療法が可能となりました。

治療の適応となるのは、「ダニ抗原によるアレルギー性鼻炎」です。

アレルゲン免疫療法(減感作療法)とは、適量の原因アレルゲン(抗原:アレルギーの原因となる物質)を体内に投与することで、くしゃみや鼻水などの体内での過剰な反応を起こりにくくする治療法です。従来、ハウスダストやスギ花粉などのアレルゲンを皮下注射で投与する方法はありましたが、頻回の通院や注射の痛みなどの問題がありました。舌下免疫療法では、自己管理のもと自宅でアレルゲン製剤を服用できるため、治療における負担が軽減しました。

アレルゲン免疫療法は、症状を緩和するこれまでの薬物治療と違って、体内の免疫のしくみを変化させて根本的にアレルギー性鼻炎を治す可能性がある治療法です。免疫療法の治療開始前には、原因アレルゲンを特定する検査が必要で、少量ずつ、数日から数週間かけてアレルゲンの量を増やします。なお、アレルゲン免疫療法では、アレルゲンの種類にかかわらず、3~5年にわたり治療を継続することが推奨されています。また、すべての方に治療効果が期待できるわけではないことも知っておいて下さい。

耳鼻咽喉科部長 清水 隆

※以下の場合には、ダニアレルゲン舌下免疫療法は受けられません。

- ①ダニが原因でないアレルギー
- ②12歳未満の小児
- ③重い喘息がある
- ④悪性腫瘍や免疫系の病気がある

特集



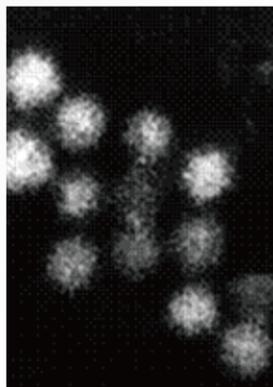
感染性胃腸炎

にご注意下さい!

ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が流行しています。

ノロウイルスとは?

ノロウイルスとは人の小腸粘膜で増殖するウイルスです。従来は小型球形ウイルスと呼ばれていました。主に11月から3月にかけて胃腸炎を起こします。少量のウイルス(100個以下)でも発症し感染力のとても強いウイルスで保育園や高齢者施設など集団生活の場では、感染がひろがり集団発生を引き起こしやすいといえます。



ノロウイルスの主な三大症状

- ①発熱(初期症状で微熱が大半)
- ②嘔吐・下痢症状
- ③腹痛(刺すような痛み)



潜伏期間(感染から発症までの時間)は24~48時間で、主症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛であり、発熱は軽度です。通常、これら症状が1~2日続いた後、治癒し、後遺症もありません。また、感染しても発症しない場合や軽い風邪のような症状の場合もあります。

ノロウイルスについてはワクチンがなく、また、治療は輸液などの対症療法に限られます。対症療法で大切なことは、強い下痢止め薬を服用しないことです。無理に下痢を止めるとウイルスが腸管内に溜まり、病気の回復を遅らせることがありますので使用しないことが望ましいでしょう。

ノロウイルスに感染しないようにする予防策は?

患者のふん便や吐物には大量のウイルスが排出されるので、

- (1) 最も有効な対策は手洗いです。食事の前やトイレの後などには、石けんと流水で30秒以上かけて良く手を洗いましょう。
 - (2) 下痢や嘔吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。
 - (3) 部屋やトイレで吐いた場合は、部屋の換気を十分にしながら、吐物をふき取り、ふき取ったあとを塩素系消毒剤で消毒します。下痢や吐物を処理するときは素手でさわらず使い捨てビニール手袋と使い捨てマスクなどを使用しましょう。
 - (4) 汚れた下着や床などは次亜塩素酸ナトリウム(家庭用漂白剤)などの塩素系消毒薬を使用して消毒します。
- 特に、子どもやお年寄りなど抵抗力の弱い方は、加熱が必要な食品は中心部までしっかり加熱して食べましょう。**
また、調理器具等は使用後に洗浄、殺菌しましょう。

嘔吐物(吐いたもの)の処理方法



①嘔吐物や消毒液が直接触れないよう手袋を着用し、ウイルスを吸い込まないようマスクも着用しましょう。



④ビニール袋に嘔吐物や拭き取った新聞紙等を入れ、口をしっかり縛ります。

【準備するもの】

- 使い捨てタオル、新聞紙、ペーパータオル等
- ハイターやミルトンなどの塩素系漂白剤と水(500mlの水に5%の塩素系漂白剤をペットボトルのキャップ2杯)

- 使い捨て手袋(ない場合はゴム手袋)
- マスク(ない場合は、タオル等で口と鼻を覆う)



②嘔吐物は、水で濡らした新聞紙などで外側から内側に向けて、静かに拭き取ります。



⑤別のビニール袋に④を入れます。その後、マスクを外し、手袋を裏返しながらかき捨てます。ゴム手袋を使用した場合は、脱いだものを消毒液で消毒します。



③水で薄めた塩素系漂白剤をペーパータオル等に染み込ませ、できるだけ広い範囲(半径1.5m)を濡すように拭き取ります。



⑥内側を触らないようにして口を縛り、捨てます。手袋をしていても、必ず最後に石けんでよく手を洗ってください。

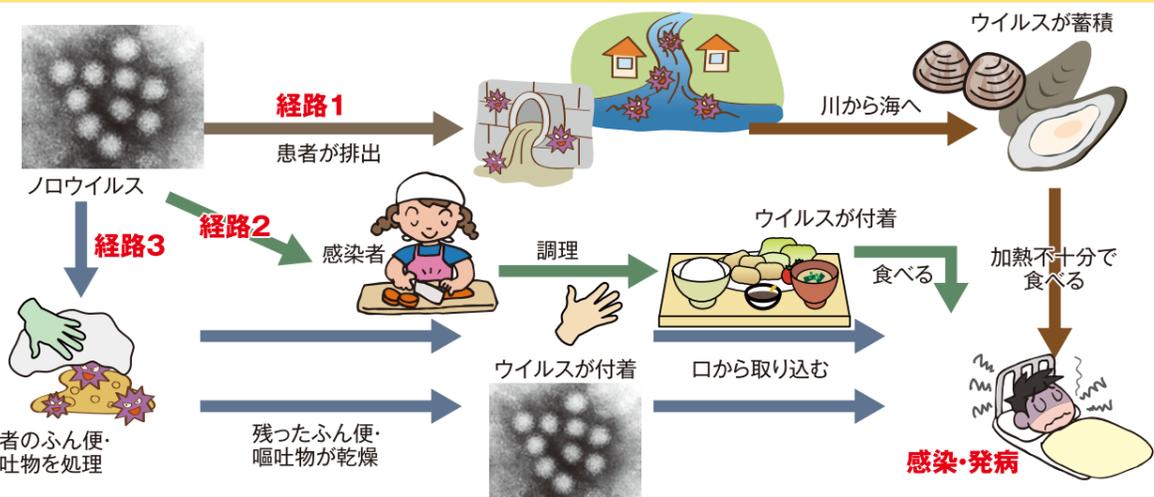
消毒液の作り方

- ◆ノロウイルスに対しては、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒が有効です。
- ◆次亜塩素酸ナトリウムは、市販の「家庭用塩素系漂白剤(濃度約5%)」(商品名:ハイター等)に含まれています。
- ◆ここでは、「家庭用塩素系漂白剤」を使用した、消毒液の作り方を紹介します。
- ◆ペットボトルを使用すると簡単に作ることが出来ます(キャップ1杯が約5ml)。
- ◆消毒液の保管場所は冷暗所(高温、紫外線等で分解され効果が低下する)。

消毒液を取り扱う際の注意点

- ◆換気を十分に行って下さい。
- ◆皮膚に対して刺激作用があるので、ビニール手袋等を使用して下さい。また、手指・皮膚の消毒には使用しないで下さい。
- ◆漂白作用があるので、色落ちが気になる衣類等には使用せず、他の方法(85℃以上の熱水消毒)で消毒して下さい。
- ◆金属を腐食させる性質があるため、金属に使用したときは、念入りに水拭きして下さい。
- ◆汚物(嘔吐物、便等)など有機物が残っていると消毒効果が低下するため、汚物はあらかじめ除去した上で、消毒して下さい。

ノロウイルスの感染経路



消毒液を使用する場所・物	出来上がる消毒液の濃度	作り方
ドアノブ・手すりなど 感染者が直接接触した場所・物	200ppm (0.02%)	家庭用塩素系漂白剤 10ml (ペットボトルのキャップ 2杯分) + 水 2.5ℓ (500mlのペットボトル 5本分)
嘔吐物・便等が 直接付着した場所・物	1,000ppm (0.1%)	家庭用塩素系漂白剤 10ml (ペットボトルのキャップ 2杯分) + 水 0.5ℓ (500mlのペットボトル 1本分)

HCU 紹介 HCU 師長 近藤和治

HCU (high care unit) とは重症な患者が入室する病棟です。そこでは一般病棟と違う様々な点があります。

- 患者に対する看護師の数が違います。一般病棟では7人の患者さまに1人の看護師でよいのですが、HCUでは常時4人に対し1人以上の看護師を配置しております。
- 部屋の大きさが違います。当院では患者一人に対し15平方メートル以上の広さがあります。
- 空調・非常電源・医療機器などの設備が違います。当院では最新の医療機器が多数あり、いくつか紹介します。



●人工呼吸器 RTX

より自然な呼吸でサポートできる人工呼吸器です。これは胸のまわりに亀の甲羅の様な道具を着け、引っ張る形で呼吸します。前述二つの人工呼吸器と決定的に違うのは空気を押し込む陽圧の呼吸ではなく、自然な引っ張る陰圧の呼吸をする人工呼吸器です。

さらに最大の利点は、1分間の呼吸回数を800回まで上げることができる事です。その高速振動で肺の奥に溜まっている痰を出すことができ、また呼吸の筋肉をほぐすマッサージ効果もあります。



●持続的血液濾過透析 CHDF

重症の患者は腎臓の機能が悪く、自分で体内の老廃物を出すことができない方もいます。しかし循環動態が悪い患者は、通常の透析では対応できません。そのため24時間かけてゆっくり持続的血液濾過透析を行います。

●大動脈内バルーンパンピング IABP

心筋梗塞などで血圧が不安定な患者に挿入します。心臓が脈打つのに合わせて大動脈内に入れた風船が膨らみ、血液を押し出すことで全身に血液を送り出します。



●人工呼吸器 ハミルトン

これは通常の人工呼吸器と違い、患者の呼吸状態に応じて自分で計算し設定を調整できます。さらに、最重症呼吸不全に対するAPRVという特殊な呼吸設定も可能で、よりコンパクトで持ち運びもでき、何より静かです。



●人工呼吸器 V60

今までは呼吸状態が悪い患者は気管に管を入れないと対応できませんでした。最近の人工呼吸器はマスクを装着するだけで呼吸の補助ができます。しかし、空気が漏れないようにするため強くマスクを装着し、顔のまわりの皮膚に潰瘍ができる事もしばしばありました。この器械は弱い装着でよく、結果皮膚トラブルをほとんど起こすことはありません。さらに、高度の設定が可能で、これにより気管に管を入れる患者の数が格段に減りました。



そのほかにも多数ありますが、これだけの設備は他のどんな大規模な病院にも遜色ありません。看護師の教育も徹底し各専門分野の医師、看護師が24時間体制で対応します。

今後も佐賀県東部地区の救急医療を担っていくように日々精進し、体制をさらに充実し、平成28年度にはより基準の高い「ICU」となる方針です。

イベント 報告 Event Report

11/19(木) 通所リハビリ 消防訓練



今回も利用者のご協力を頂き、初期消火・消防署通報・避難誘導訓練を行いました。実際に利用者をご案内して2Fから避難するにあたり、緊張感をもって訓練ができました。火災は何時何分何秒に起こるか分かりません。いざという時に、迅速に対応できるように日頃の訓練が必要です。何よりも、火災を起こさないが1番なので、火の元の管理等をしっかり心掛けていきます。避難訓練終了後に、消火器の取り扱い訓練も実施しました。



11/24(月) グループホーム「かがやきの里」 とどろき 救命救急講習会



11月24日(月)に在宅支援センター研修があり、鳥栖消防署の指導を受けながら救命救急講習会を受講しました。DVD視聴した上で、いくつかのグループに分かれて胸骨圧迫法やAED使用による心肺蘇生法を参加者全員指導され、実際に体験しました。

年に1度の研修で緊張感もありましたが、仕事やプライベートでも一人一人が自信を持てるような受講・体験ができました。

12/17(木)・18(金) 今村病院デイサービスセンター クリスマス会

年末恒例のクリスマス会を行いました。乾杯に始まり、皆さんサンタクロースの衣装に身を包み、記念撮影や職員による楽器の演奏を聴いて楽しんで頂きました。最後には、クリスマスケーキを食べたりクリスマスプレゼントをもらったりと、年末の思い出に残る楽しいイベントとなりました。

来年も、皆さんに喜んで頂けるような楽しいイベントをたくさん企画していきたいと思っております。



12/19(土) グループホーム「かがやきの里」 とどろき 忘年会

入居者とそのご家族、職員と一緒に楽しく会食をして、午後からは職員による余興を行い、大いに笑って大変盛り上がりました。また、秋から冬のスライドショーをみんなで鑑賞し、亡くなられた方の映像もあり思い出して涙ぐむ場面もありました。最後に「また来年もよろしくお祈りします!」という意味を含め、一本締めで締めくくりました。

